

施策評価シート (平成27年度の振り返り、総括)

作成日 平成28年 07月 12日

施策 No.	26	施策名	良好な生活環境の保全
主管課名	環境課	電話番号	0285-83-8127
関係課名	商工観光課、農政課、建設課、都市計画課、区画整理課、長田区画整理指導室、下水道課、生涯学習課		

施策の対象	・市民 ・事業所 ・市内全域 ・環境								
対象指標名	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	31年度見込
人口	人	82,997	82,584	82,136	81,511	80,929	80,698	80,590	80,200
公害防止協定事業所数	箇所	128	129	131	131	134	137	138	140
市域面積	ha	16,721	16,721	16,721	16,721	16,721	16,734	16,734	16,734

施策の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな街づくりを目指す。 ・大気、水質、騒音、悪臭等の状況を把握し、良好な生活環境の保全に努める。 ・環境問題の現状を把握し、環境保全への具体的な行動を実践する。 								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	市民意向調査による ・きれいな街、緑などの自然環境が良い、地域の景観が良いと感じている市民の割合とした。 ・大気、水質、騒音等の生活環境が良いと感じている市民の割合とした。 環境基準の適合率により状況を把握。								
成果指標名	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	31年度基本計画目標値
きれいな街と感じる割合	%	74.0	70.2	69.7	72.1	74.9	76.7	79.6	80.0
緑などの自然環境が良いと感じる割合	%	92.6	86.2	86.1	87.3	86.9	87.3	86.8	90.0
地域の景観が良いと感じる割合	%	85.9	77.6	79.1	78.3	76.7	79.1	79.7	85.0
排ガス・ばい煙の状況が良いと感じる市民の割合	%	73.9	66.5	68.9	69.2	69.7	70.9	75.4	75.0
臭気・騒音・振動の状況が良いと感じる市民の割合	%	66.4	61.6	61.5	61.6	62.0	64.0	68.7	70.0
河川の水質の状況が良いと感じる市民の割合	%	64.7	59.4	59.3	62.6	62.3	63.7	67.0	70.0
河川の生活環境項目環境基準適合率	%	79.2	80.2	81.0	80.2	80.8	79.8	80.6	85.0
大気環境基準未達成項目数	項目	2	1	1	3	2	3	1	1
騒音環境基準未達成か所数	箇所	1	0	0	1	0	0	0	0

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	住民の役割...環境に対する関心を高め、良好な生活環境の保全に努める。 行政の役割...環境の現状を周知し、環境保全に関する施策の推進を図る。 環境保全に対する意識の高揚と環境学習の推進を図る。								
-------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

(1) 施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）

- ・きれいな街と感じている市民の割合は、平成27年度で79.6%で平成25年度に比べ4.7ポイント増加している。
- ・河川の水質が良いと感じている市民の割合は、平成27年度で67.0%で平成25年度に比べ4.7ポイント増加している。
河川の生活環境項目環境基準適合率は、平成27年度で80.6%で平成25年度に比べ0.2ポイント減少しているが、ほぼ横ばい状況にある。
- ・排ガス・ばい煙の状況が良いと感じている市民の割合は、平成27年度で75.4%で平成25年度に比べ5.7ポイント増加している。代表的項目の状況は、下記の通り。
光化学スモッグ注意報発生回数は、平成25年：1回、平成26年：1回、平成27年：1回（注意報はオキシダント測定値が0.12ppm、警報は0.24ppm以上で発令）
浮遊粒子状物質（真岡市役所屋上）年平均値は、平成25年：0.024mg/立方m、平成26年：0.023mg/立方m、平成27年：0.023mg/立方m、（日平均値基準は0.10mg/立方m以下）であり横ばい状況である。
微小粒子状物質（PM2.5）（真岡市役所屋上）年平均値は、平成25年：14.9μg/立方m平成26年：13.6μg/立方m、平成27年：12.8μg/立方m、（年平均値基準は15μg/立方m以下）で平成27年度はやや低下した。

(2) 近隣他市との比較

- ・市民一斉清掃は、「とちぎの環境美化県民運動」の一環として県下一斉に昭和57年から取り組み、ほとんどの市町で実施しているが、特に真岡市では、その日のうちに回収を済ませるなど、市民と一体となった取り組みを行い定着化が図られている。一斉清掃参加率（参加区）は、94%であり、高水準と思われる。
- ・河川ごとに、流域市町で計画的な調査を続けている。
（環境基準適合率=基準適合延項目数/年間測定延項目数）
五行川 真岡市：78.0%、さくら市：80.0%、高根沢町：82.5%、芳賀町：78.8%、筑西市：72.5%（五行川水質調査連絡協議会調査結果）
小貝川 真岡市：81.7%、市貝町：80.0%、益子町：80.0%（芳賀地区公害対策連絡協議会調査結果）
- ・下水道生活排水処理普及率（平成27年度末）は、県内14市中6位。真岡市：81.4%
宇都宮市：96.9%、下野市：94.4%、小山市：88.8%、足利市：87.3%
鹿沼市：84.9%、大田原市：81.0%、日光市：79.1%、さくら市：79.6%、佐野市：75.5%、栃木市：74.3%、那須塩原市：73.8%、矢板市：61.5%、那須烏山市：53.6%、栃木県平均：84.4%

(3) 住民期待水準との比較

- ・市民意向調査による、「きれいな街」と感じる割合は79.6%、「緑などの自然環境が良い」と感じる割合は86.8%、「地域の景観が良い」と感じる割合は79.7%と比較的高水準である。
- ・大気や水質の環境基準項目全体の適合率は横ばい状況にある。市民意向調査の結果では、「排ガス・ばい煙」「臭気・騒音・振動」「河川の水質」の状況を良いと思う市民の割合は、75.4%（70.9）、68.7%（64.0）、67.0%（63.7）ですべての項目が、（ ）内の前年より、ポイントが上がった。

27年度の
評価結果

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

- ・市民一斉清掃（126区、年2回、39 t）、河川クリーン作戦（4団体、400kg）、地域や団体が随時行っているクリーン活動（50団体・延べ129回、7.7 t）などの環境美化活動を支援している。
- ・空地の雑草苦情に対して、迅速に対応している。（47件）
- ・捨て犬、捨て猫を予防するために、犬猫避妊手術の補助事業をPRしている。
避妊手術実績（メス犬49頭、メス猫224匹）
補助額（メス犬5,000円、メス猫3,500円）
- ・犬や猫のペットによる糞害等の苦情に対し、広報誌やお知らせ版等で、飼い主のマナー向上を啓発している。
（犬・猫の苦情：29件）（動物愛護センターでの引取件数：犬6件、猫16件）
- ・花いっぱい運動を継続的に実施し地域の美化に努めている。
実施地域公民館数 平成25年度：83館、平成26年度：86館、平成27年度：79館
- ・河川水質汚濁の原因である生活排水については、公共下水道、農業集落排水事業や合併浄化槽を普及促進し、水質汚濁の防止に取り組んでいる。
河川水質の指標であるBOD（有機性汚濁物質が微生物によって分解されるときに必要な酸素の量を、汚れの指標とする）の年平均値は、いずれも環境基準（2.0mg/L以下）以下であった。五行川（桂橋）1.7、行屋川（行屋新橋）1.7、鬼怒川（砂ヶ原橋）1.3、小貝川（三谷橋）1.1、江川（江川大橋）1.9
大腸菌群数年間適合率（河川全体：8.8%）
河川の生活環境項目の年間適合率：80.6%
- ・工場、事業場排水は、県と連携し、排水処理施設の維持管理の指導や排水調査を実施している。市独自の工場排水調査は、41社58排水口、延べ399項目検査し、99.0%が適合。不適合項目は、延4項目。不適合工場に対して、改善指導をしている。
- ・地下水位を把握するため、工業団地周辺12箇所と比較対象地1箇所の浅井戸の水位測定を行っている。
- ・工場等ばい煙については、県と連携し、指導・調査を実施している。
市独自の工場ばい煙調査の適合率は95%。
大気環境基準未達成項目1項目（H27年度：光化学オキシダント、基準：0.06ppm以下、年間105日基準オーバー。）
- ・PM2.5の状況については、リアルタイムでホームページ（とちぎの青空にリンク）に掲載し周知に努めた。
（ 補足事項欄参照 ）
- ・環境騒音は、市内14か所で調査し、環境基準を100%達成。また、自動車騒音常時監視面的評価では、国県道の道路延長42.0kmを調査し、道路に面する地域の戸数の99.1%が、昼・夜の環境基準を達成。
- ・環境情報は、年次報告書「真岡市の環境」の内容を広報もおかとホームページで公開している。
- ・住宅用太陽光発電設置補助事業：平成21年4月から開始した。1kwあたり3万円を補助し、上限は4kwで12万円である。
平成27年度は、179件に交付し890.26kwで交付額は20,327千円であった。
（平成21年度～平成27年度 延べ1,581件 7,193.21kw 185,064千円）

27年度の
評価結果

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・ 犬、猫の飼い方のマナーアップ事業を支援する。
市内1地区を対象に、犬、猫の飼い方について、県動物愛護センター職員を講師として、座談会を開催する。
(猫については登録や首輪をして繋ぐなどの法による規制がなく、動物愛護と生活環境保全の兼ね合いが難しい。また、犬の散歩中の糞についての苦情がある。)
- ・ 花いっぱい運動を推進し、参加する地域公民館数の増加に努める。
- ・ 引き続き、河川水や工場ばい煙、排水等の調査・測定を継続的に実施し、現状把握、指導等により、達成率(大気、水質、騒音等)の向上を目指す。
- ・ 浄化槽の普及促進と維持管理指導を徹底する。
- ・ 住宅用太陽光発電設置補助事業については、設備の設置経費が下がっていることなどから、補助金額等について、検討を行った。
(平成28年度は、1kw当たり2万円。上限4kwで8万円)

27年度の
評価結果

補足事項

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組みの総括補足

- ・PM2.5（微小粒子状物質）については、注意喚起指針を平成25年2月に国が設定。日平均値が暫定指針値の70マイクログラムを超えると予想される場合、栃木県が注意喚起情報を発令する。
（栃木県において、70マイクログラムを超えた日はこれまでにない。超える恐れがあるときは真岡市は防災無線で周知する）平成27年度真岡市の日平均最高値は、51.3マイクログラムであった。測定器は、栃木県が県内12か所に設置（内1基は真岡市役所屋上）、宇都宮市が2か所設置
- ・放射線量：市内を2キロメッシュに区切った46箇所での測定結果は、
（平成27年度：最高値 0.11マイクロシーベルト、平均値 0.08マイクロシーベルト。
測定開始平成23年度：最高値 0.16マイクロシーベルト、平均値 0.11マイクロシーベルト。）
- ・下水道生活排水処理普及率は、総人口に対し、公共下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽、公営・民営集合住宅の処理人口の占める割合を表す。